

個人投資家さま向け会社説明会

三和ホールディングスの概要と取り組み

2022年8月9日

三和ホールディングス株式会社

(東証プライム・証券コード：5929)  JPX-NIKKEI 400

代表取締役社長

高山 靖司

本日本話する内容

2

- | | | | |
|----|----------------|----|----------------|
| 3 | 会社概要 | 12 | 長期ビジョンと中期経営計画 |
| 4 | 三和グループの歴史 | 13 | 社会に貢献する商品・サービス |
| 5 | 日本における主要商品 | 14 | 株価推移について |
| 6 | 街の中にある三和グループ製品 | 15 | 株主還元 |
| 7 | 日本における強み | 16 | 株主優待情報 |
| 8 | 北米における強みと主要製品 | 17 | ESGマテリアリティとKPI |
| 9 | 欧州における強みと主要製品 | 18 | 外部からの評価 |
| 10 | アジア事業の成長力強化 | 19 | コーポレートサイトについて |
| 11 | 業績推移 | | |

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



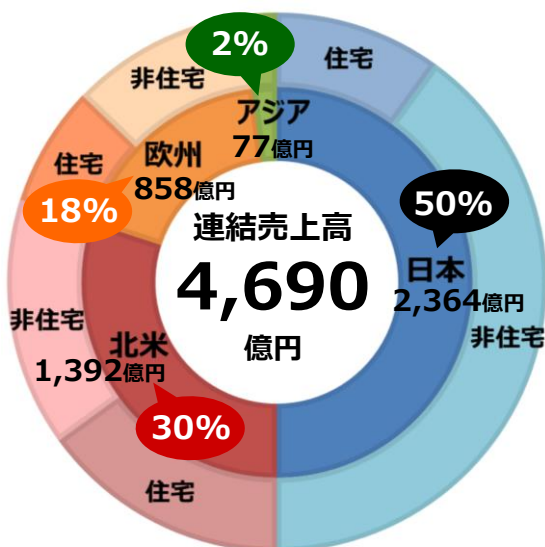
三和グループの使命

安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します

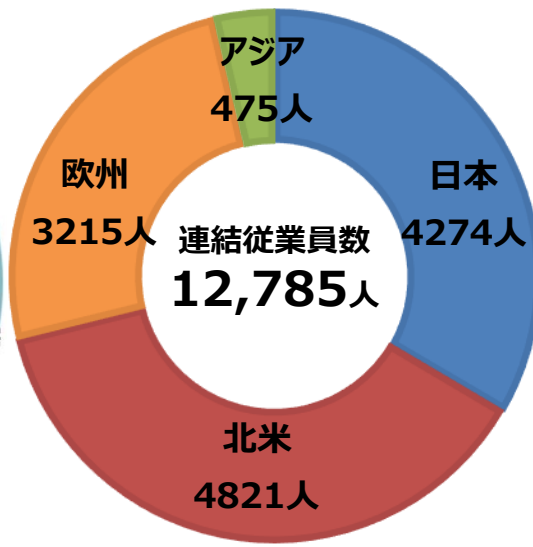
三和グループの経営理念

- 一、お客様すべてが満足する商品、サービスを提供します
- 一、世界の各地域で評価されるグローバルな企業グループとなります
- 一、個人の想像力を結集して、チームワークにより、企業価値を高めます

2021年度売上構成比



従業員の地域別構成比



会社概要

会社名	三和ホールディングス株式会社
設立	1956年4月10日
代表取締役社長	高山 靖司
連結従業員	12,785人
資本金	38,413百万円
連結売上高	4,690億円
連結子会社	66社 (国内12社 海外54社)

(2022年3月期)

三和グループの歴史

4



2003年 NF買収時

2003年
欧州NFを買収

2016年
監査等委員会設置会社へ移行

2019年
鈴木シャッターを買収

2007年
持株会社体制へ移行

1996年
米国ODCを買収



1996年 ODC買収時

1986年
香港・シンガポールに現地法人を設置、
初の海外進出

1970年
東京・大阪両証券取引所市場第1部に上場

1963年
本社を東京へ移転

1956年
三和シャッター製作所として兵庫県尼崎市に設立



創業当時の初荷風景



太田ドア工場

1969年
三和ドア工業(株)を設立
ドア事業に進出

日本における主要商品

5

：マーケットポジション

日本

シャッター製品



重量シャッター



オーバースライダー



軽量シャッター



高速シートシャッター
「クイックセーバー」シリーズ



断熱スライダー



窓シャッター
「マドモア」シリーズ



ウォーターガード
防水シャッター



耐火クロス製
防火・防煙スクリーン

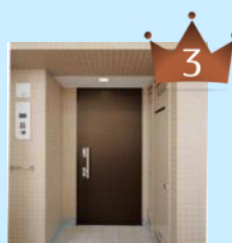


ガレージドア

ドア製品



スチールドア



マンションドア



医療施設向けドア
「スムード」シリーズ

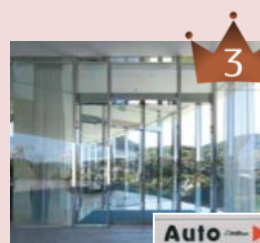
その他製品



間仕切



ステンレスフロント



自動ドアエンジン



アルミフロント



カーテンウォール



メールボックス
宅配ボックス

街の中にある三和グループ製品

■ビル

オフィスエリア



パーティション



トイレブース

エントランスエリア



自動ドア



アルミ/ステンレスフロント



メールボックス



防水シャッター

ビル外壁



中低層カーテンウォール

防火区画



防火・防煙シャッター



防火ドア(スチールドア)

◆ 多品種化戦略により、オフィスにおける取扱商品の増加

◆ 東名阪の大型都市開発における強い需要を見込む

■工場・物流センター

◆ eコマースの伸長により、大型物流センター向けの商品（重量シャッター・オーバースライダー）の需要拡大



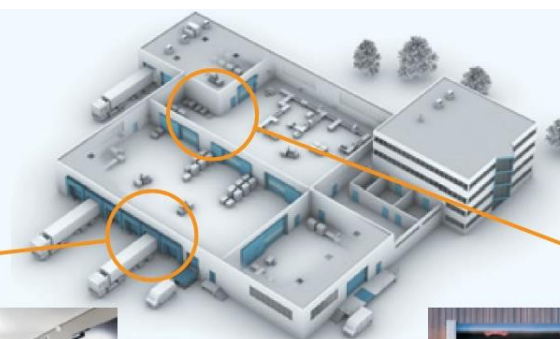
オーバースライダー



ドックレベラー



スチールドア



高速シートシャッター



商業用シャッター



ハイパフォーマンスシャッター

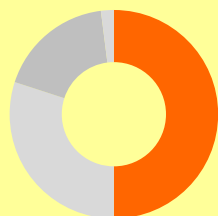
日本における強み



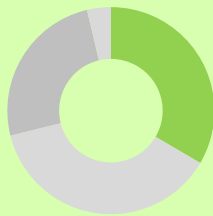
日本

特徴

- 三和シャッターを中心とした全国に広がる販売・製造拠点網
- 施工・アフターサービスまで一気通貫のビジネスネットワーク
- 3,800名超の施工技術者を全国に配置した強固な施工体制
- シャッター、ドアだけではない“多品種ラインアップ”



売上高構成比
50%



従業員数
4,274人



住宅/非住宅比率
非住宅が**80%**

NEWS!

「国土強靱化
民間の取組事例集」に選定



「国土強靱化 民間の取組事例集」



高耐風圧窓シャッター
「マドモア耐風ガード」

高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」が、内閣官房 国土強靱化推進室が発行する「国土強靱化 民間の取組事例集」に掲載されました。

2021年8月

NEWS!

太田ドア工場に物流棟を新設



ドアの主力工場である太田ドア工場の敷地内に、首都圏再開発需要に対応した物流効率の向上を目的として、物流棟を新設しました。

2021年10月

NEWS!

「防災防疫製品大賞©2021」
最優秀賞(新製品開発部門)を受賞



業界初の防水性能と防火性能・防煙性能を有するシャッター「ウォーターガード 防水シャッター 防火・防煙タイプ」が、一般社団法人 防災安全協会が主催する「防災防疫製品大賞©2021」の新製品開発部門において、「最優秀賞」を受賞しました。

北米における強みと主要製品

北米 – オーバーヘッドドア社 –



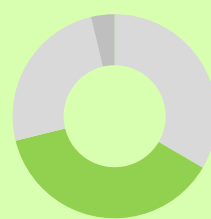
特徴

- 1921年創業の業界のパイオニア
- 米国、カナダ、メキシコで事業展開
- 約450箇所の代理店網



売上高構成比

30%



従業員数

4,821人



住宅/非住宅比率

住宅が60%



産業用ドア



ガレージドア



開閉機



自動ドア

NEWS!

Won-Door社の 2021年
全株式を取得 4月



米国横引きスライド式ドア最大手のWon-Door社の全株式を取得しました。

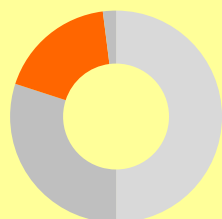
欧州における強みと主要製品

欧州 – ノボフェルムグループ

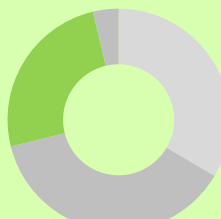


特徴

- 1955年創業の業界 2 位のシェア
- 主力のドイツのほか、フランス・イギリス・オランダなどで事業展開
- M&Aによる産業用ドア事業の拡大と施工・サービス事業の強化



売上高構成比
18%



従業員数
3,215人



住宅/非住宅比率
非住宅が**60%**



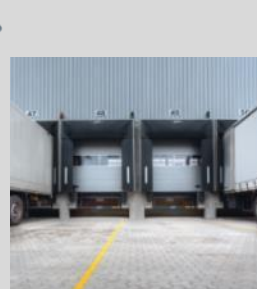
産業用ドア



ガレージドア



スチールドア



ドックレベラー

NEWS! Manuregion 社 2021年
(フランス) の株式取得 10月

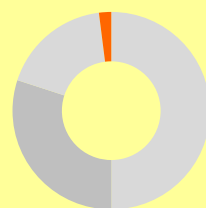
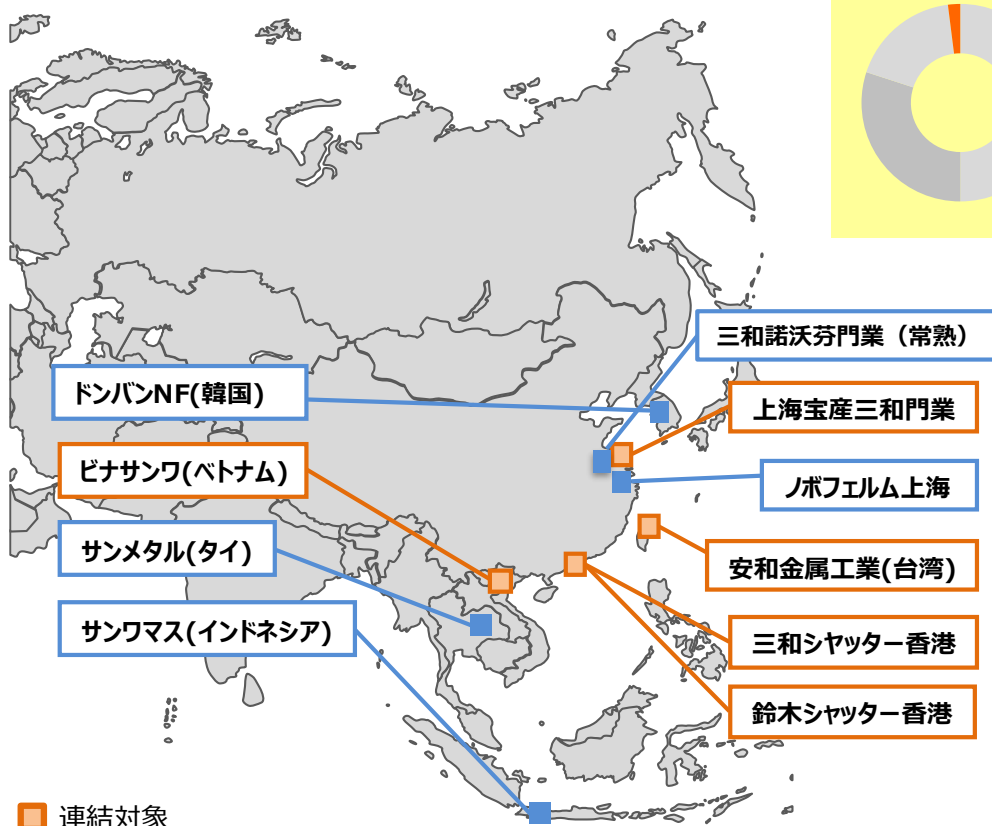


フランスにおける産業用製品
専門ディーラーの
Manuregion社の持株会
社であるManugestion社
の全株式を取得しました。

アジア事業の成長力強化

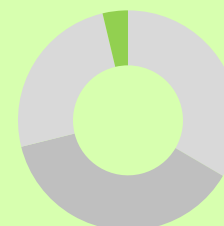
アジア

戦略 グループ各社の一体運営強化および連結対象事業の拡大



売上高構成比

2%



従業員数

475人

特徴

- 1986年に業界に先駆けてアジア(香港・シンガポール)へ進出
- 日本の技術を活かした高品質な製品ラインアップ
- グループ各社の販路・技術力を活用

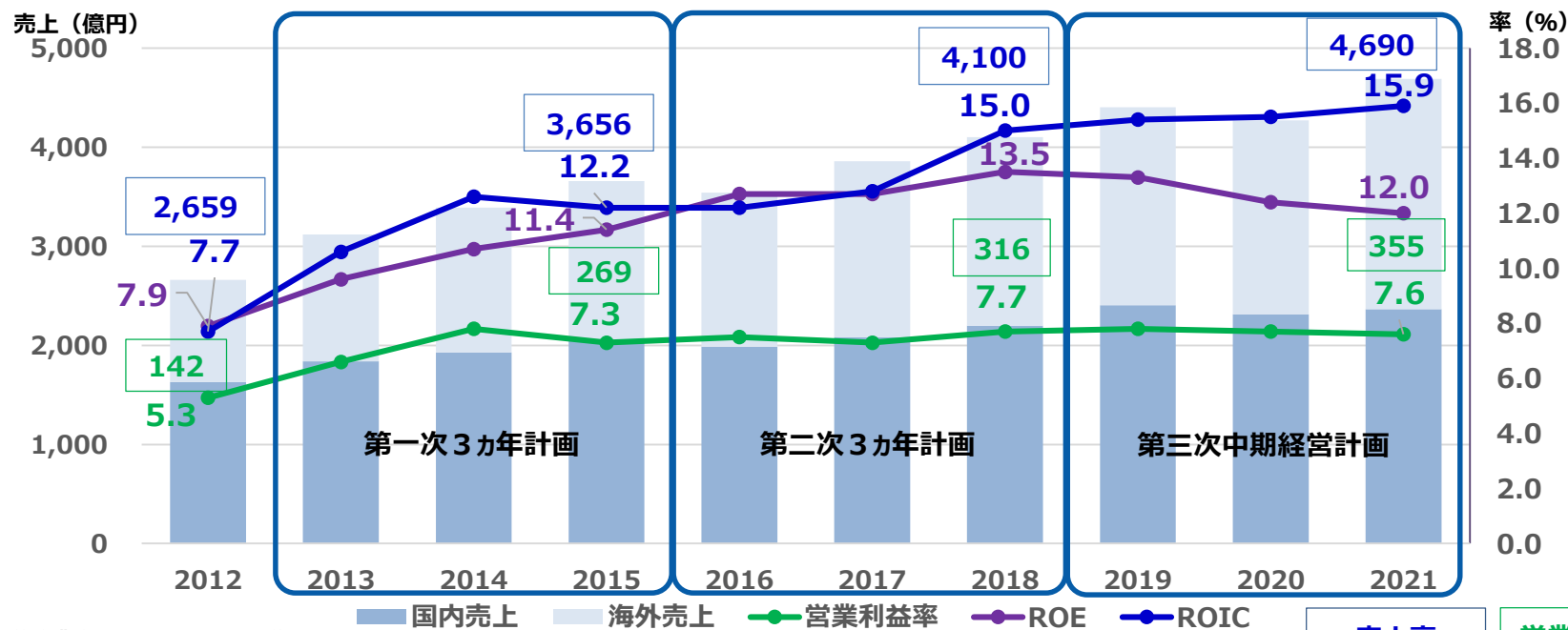
NEWS!

中国事業再構築による
新工場(常熟)

2021年12月完成、2022年6月より稼働



業績推移



ROIC = 税引後営業利益(NOPAT) / 投下資本 × 100

※ ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

三和グローバルビジョン2020 (2013~2021) グローバル経営のNext Stageへ

振り返り

- 売上高は、約2,000億円増加、特に海外売上高は2倍
- 営業利益は約2.5倍に増加し、営業利益率は、2.3%上昇
- ROEは、4.1%上昇
- SVAは、約130億円増加、ROICは、+8.2%と大きく上昇
- 時価総額は、2倍強の水増し

※ 上記は全て2012年対比

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績
売上高	4,402億円 (+7.4%)	4,271億円 (▲3.0%)	4,690億円 (+9.8%)
営業利益	342.2億円 (+8.3%)	330.8億円 (▲3.3%)	354.9億円 (+7.3%)
経常利益	334.7億円 (+10.0%)	321.4億円 (▲4.0%)	341.2億円 (+6.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	216.5億円 (+3.5%)	212.5億円 (▲1.8%)	228.4億円 (+7.5%)
ROE	13.3%	12.4%	12.0%

長期ビジョンと中期経営計画

2030

長期経営ビジョン

三和グローバルビジョン2030

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions

～高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、サステナビリティ経営と人材力強化により全てのステークホルダーから評価される企業グループとなります。

2024

中期経営計画2024（2022～2024年度）

基本戦略

1. 日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大
2. アジア事業の成長力強化
3. 防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進
4. デジタル化とものづくり革新による生産性向上
5. サステナビリティ経営の推進

2022

**中期経営計画2024
2022年度の進捗**

- ・2022年度業績は2年連続で売上、各利益とも過去最高を予想
- ・1Q実績は、米州事業の好調を要因として、連結売上・利益が大幅な増収増益となったことに伴い、上期および通期業績予想を上方修正
- ・業績予想修正に伴い、年間配当予想を45円から50円に修正

	2022年度 第1Q実績	2022年度 期初予想	2022年度 修正予想	中期経営計画 2024
売上高	1,190億円 (+19.9%)	5,180億円 (+10.5%)	5,450億円 (+16.2%)	5,800億円
営業利益	48.8億円 (+30.5%)	390.0億円 (+9.9%)	450.0億円 (+26.8%)	450.0億円
経常利益	39.4億円 (+5.6%)	380.0億円 (+11.4%)	420.0億円 (+23.1%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	25.8億円 (+6.4%)	250.0億円 (+9.4%)	280.0億円 (+22.6%)	—
R O E	—	12.4%	13.4%	13.5%

社会に貢献する商品・サービス

13

商品・サービスを通じて気候変動・防災・新しい生活様式（ニューノーマル）に貢献していくことで、売上の拡大とサステナブルな社会の実現を目指します。

気候変動

緩和

空調効率を向上させる高速シートシャッターなど、温室効果ガスを抑制して、地球温暖化の進行を食い止める“緩和”に貢献する商品



2021年度実績
774 億円



2024年度目標
960 億円

適応

気候変動の進行に備えた防水・耐風商品など、気候変動による被害の回避・低減に備える“適応”に貢献する商品



2021年度実績
140 億円



2024年度目標
180 億円

防災

防災に貢献する商品

延焼防止、安全な区画形成に貢献する防火シャッター、防火ドア、耐火間仕切や、地震時の被害軽減に貢献する耐震仕様商品



2021年度実績
631 億円



2024年度目標
810 億円

防災機能を支えるメンテナンス・サービス

社会インフラとしての防災機能の維持と、住み続けられるまちの実現に貢献するメンテナンス、点検、修理サービス



2021年度実績
640 億円



2024年度目標
760 億円

ニューノーマル対応

非接触

- 自動ドア
- 開き戸・引き戸
- トイレブース
- 高速シートシャッター
- マンションハンズフリーシステム



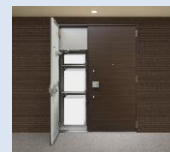
抗菌・抗ウイルス

- トイレブース
- 開き戸・引き戸
- 高速シートシャッター



非対面

- 宅配ボックス
- マンションドア
- 宅配ロッカー付き仕様



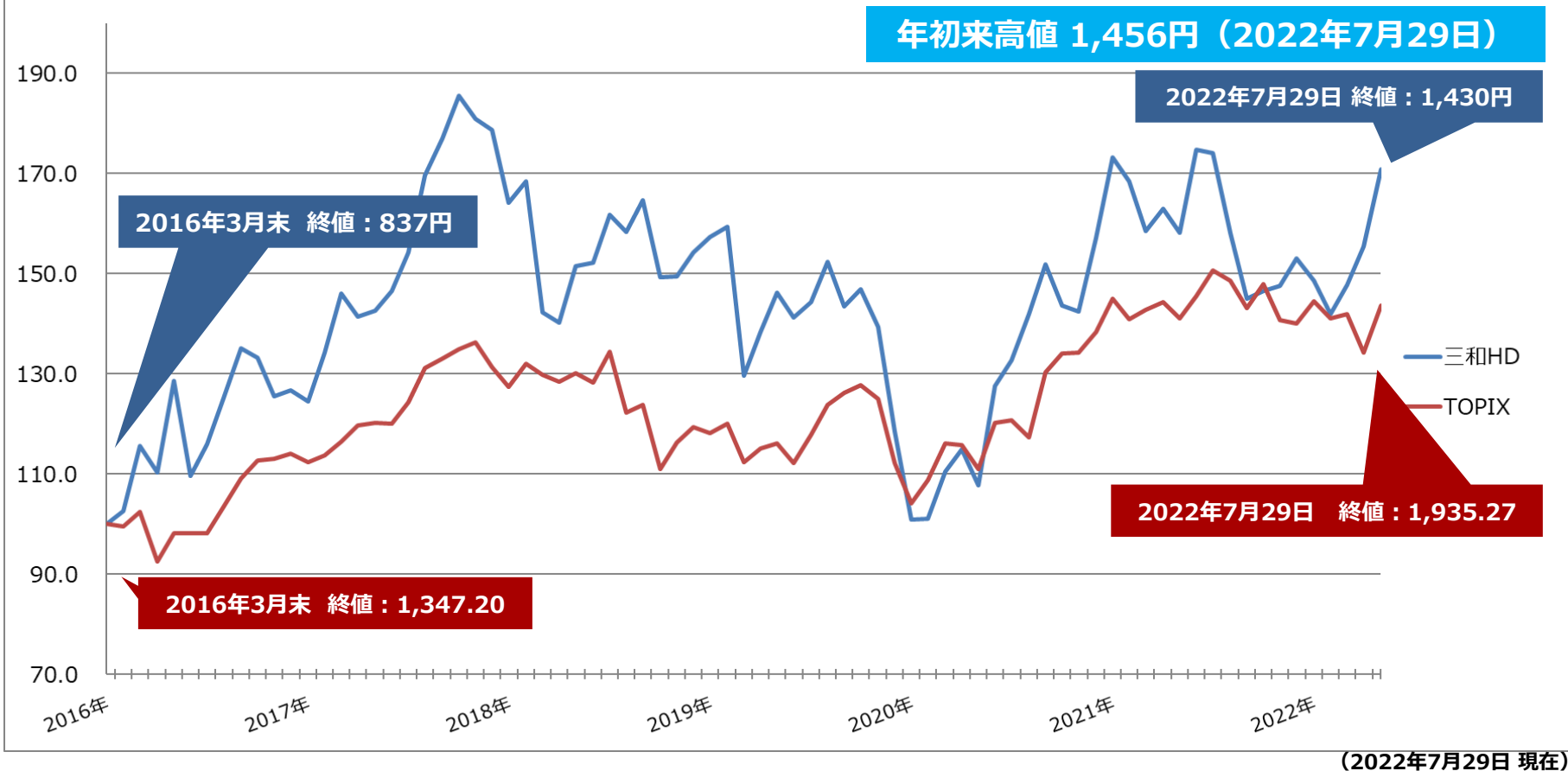
換気

- 窓シャッター
- オーニング
- マンションドア



株価推移について

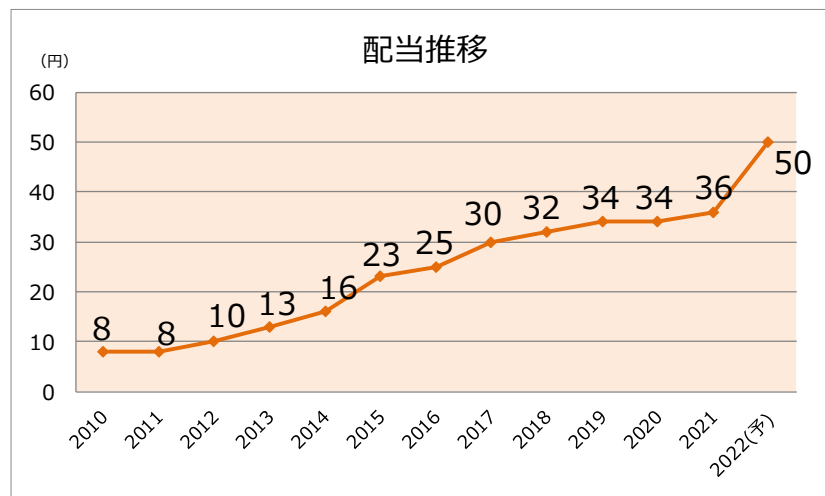
三和ホールディングス 株価の推移 (2016年=100としたときの指数)



JPX-NIKKEI 400

2015年8月31日より株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が共同で開発した株価指数である「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定されています。

■ 配当推移



今年度は14円増配予想

■ 1Q発表時(7/29)に45円→50円に5円増配(予想)を公表

■ 配当利回りは、おおむね2%～3%を確保しています。

■ 配当性向

■ 自己株取得

2022年度より5%引き上げ、当期純利益の40%を目安
成長のための必要な戦略投資を行い、
また手元資金を考慮しつつ自社株取得を検討

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (修正)	2024年度 (予想)
配当性向	%	35.0	35.3	34.8	39.5	40.0
1株当たりの当期純利益	円	97.14	96.21	103.40	126.74	-
P E R (株価収益率)	倍	8.7	15.1	12.0	-	-
1株当たりの純資産	円	742.90	814.10	912.70	-	-
P B R (株価純資産倍率)	倍	1.1	1.8	1.4	-	-

株主優待情報

16

3月末現在の株主様を対象に、当社オリジナルのマリリン・モンローQ U Oカードをお渡ししています。



100株以上保有の株主様	オリジナルQ U Oカード 500円分
1,000株以上保有の株主様	オリジナルQ U Oカード 2,000円分 ※保有期間が2年以上の株主様

三和グループでは、1979年より毎年マリリン・モンローを起用し、Q U Oカードやカレンダーなどを制作しています。
マリリン・モンローが他界し、はや59年となりますが、
20世紀を代表する女優の一人として人気は高く、ご好評いただいております。

ESGマテリアリティとKPI

2022年5月、11個のESGマテリアリティに紐づいた各KPIを設定しました。

サステナブルで住み続けられるまちの実現 ～2050年事業活動に伴うCO2排出量実質ゼロを目指します～

	ESGマテリアリティ	取り組みテーマ	KPI	対象範囲	貢献するSDGs
ものづくり	商品、サービスを通じた気候変動・防災への貢献	気候変動の緩和に貢献する商品売上高	960億円（2024年度）	連結	
		気候変動の適応に貢献する商品売上高	180億円（2024年度）		
		防災に貢献する商品売上高	810億円（2024年度）		
		メンテ・サービス事業売上高	760億円（2024年度）		
	品質の確保・向上	各社の品質方針に沿った品質目標の達成	———		
環境	脱炭素社会へ向けた取り組み	CO2排出量(Scope1+2)の削減	FY2019比 10%削減（2024年度） FY2019比 30%削減（2030年度）	三和シャッター工業	
	水資源の保全	水使用量原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比 10%削減（2030年度）		
	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比 10%削減（2030年度）		
人	人権の尊重	人権リスクの特定、除去、防止	人権デューデリジェンスの実施(2024年度)	連結	
	人材育成	Eラーニング(英語)受講者数	200人(2024年度)	国内グループ	
		通信教育受講者数	1,000人(2024年度)		
	ダイバーシティの推進	女性管理職比率	15%(2030年度)	連結	
		女性従業員比率	20%(2030年度)		
	安全と健康	男性育児休業取得率	50%(2030年度)	三和シャッター工業	
		肥満率(BMI25以上)	30%(2030年度)	国内グループ	
		喫煙率	25%(2030年度)		
		精密検査(再検査含む)受診率	60%(2030年度)	三和シャッター工業	
	有休取得率	55%(2030年度)			
経営基盤	コーポレート・ガバナンス	取締役会の実効性向上	———	三和ホールディングス	
		取締役会の多様性確保	ボードダイバーシティへの対応(2024年度)		
		ステークホルダーダイアログ実施回数	200回(2024年度)		
	コンプライアンス	コンプライアンス研修受講者数	930人(2024年度)	国内グループ	
		IT-BCPの運用と継続的改善	———		

FTSEインデックスに選定

世界の代表的なESG投資指数であるFTSEインデックスにおいて、新たに「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。



2021年インターネットIR表彰「優良賞」を獲得

大和インベスター・リレーションズが上場企業のホームページを調査・評価する「2021年インターネットIR表彰」において、「優良賞」を獲得しました。



Women's Choice Award®を10年連続で受賞

オーバーヘッド社は、“Woman's Choice Award” ガレージドア部門において10年連続で1位を受賞し、「最も人に勧めたいアメリカのガレージドア」として選ばれました。



“超”モノづくり部品大賞の奨励賞を受賞

三和シャッター工業は、トイレブース「RブースTR40 電動タイプ」が「2021年“超”モノづくり部品大賞」において、「奨励賞」を受賞しました。



防災防疫製品大賞©2021の最優秀賞を受賞

三和シャッター工業は、「ウォーターガード防水シャッター 防火・防煙タイプ」が「防災防疫製品大賞©2021」の新製品開発部門において、「最優秀賞」を受賞しました。



日経SDGs経営調査★★★★ 日経スマートワーク経営調査★★★

日本経済新聞社が実施している「第3回日経SDGs経営調査」にて3つ星半、「第5回日経スマートワーク経営調査」にて3つ星に認定されました



コーポレートサイトについて

19



■ 個人投資家様向けページ

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/individual/>



■ 決算説明会 動画配信

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/document.html>



ご清聴ありがとうございました